

ハンセン病の新しい病態論と最新の治療 —感染症による差別を防ぐために正しい知識を—

今回の内科研究会は、新型コロナウイルス感染症拡大でも現実となった「感染症と差別」の関係について、ハンセン病をテーマに企画しました。医療従事者は正しい医学的知見を持って感染症や病態に対応し発信することが求められています。今回は和泉眞蔵先生(アイルランガ大学 熱帯病研究所ハンセン病研究室 前客員教授)をお招きしご講演いただきます。以下、講演概要です。

「ハンセン病は、らい菌(*Mycobacterium leprae*)により末梢神経と皮膚が侵される慢性細菌感染症である。近年のゲノム解析により、ハンセン病の病態論が大きく進歩し、「多剤併用療法」で治療成績も向上した。世界では50年代に隔離政策が廃止されたが、日本では96年まで『絶対隔離絶滅政策』が続けられたため、現在でも多くの元患者が療養所の内外で厳しい人生を送っている。関西圏にも高齢の重複障害を持つ社会復帰者が多数おり、地域医療の支援を必要としている。」

当日は、和泉先生のご講演と併せてハンセン病療養所退所者の方に体験談をお話いただきます。医師だけではなくスタッフの方々も是非ご参加ください。

会場への参加定員は50名です。WEBでの参加をご希望の場合は2枚目の申込用紙にてFAX送付もしくはQRコードから申込みいただくか、又は保険医協会ホームページ上の「行事案内」よりお申込み下さい。また、WEB参加の場合、生涯研修チケット番号及びメールアドレスのご記入を必ずお願いします。具体的な参加方法は別途ご案内をさせていただきます。

なお、当日はマスクをご着用の上ご参加ください。体調不良などございましたら参加をご遠慮いただければと存じます。

日時 2021年2月4日(木) 午後2時~4時
会場 保険医協同組合会館5階「M&Dホール」、大阪市浪速区幸町1-2-33
(地下鉄・JR線「なんば」下車26-A出口徒歩5分)
テーマ 『ハンセン病の新しい病態論と最新の治療
—感染症による差別を防ぐために正しい知識を—』
講師 アイルランガ大学 熱帯病研究所ハンセン病研究室
前客員教授(インドネシア) 和泉 眞蔵 先生

※ 会場参加定員50名 ※ WEB参加可

※ 府医「生涯研修制度」対象予定です(2単位、コード-2、8、13、80)。

会場参加をご希望の先生

地区

ご氏名

お電話番号

FAX番号



FAX 06-6568-2389

大瀧行

大阪府保険医協会ホームページ上の「行事案内」からもお申込みできます。入力画面へは左記QRコードからもアクセスできます。

WEB参加をご希望の先生

FAX

大瀧行

06-6568-2389

2021年2月4日(木)午後2時～4時

「ハンセン病の新しい病態論と最新の治療

－感染症による差別を防ぐために正しい知識を－

2月度内科研究会へWEB申込みの先生は、下記ご記入の上 FAXにてお返事いただくか、又は大阪府保険医協会ホームページ上の「行事案内」よりご入力をお願いします。保険医協会ホームページの入力画面へは下記 QRコードからもアクセスできます。

地区



ご氏名

メールアドレス

お電話番号

FAX番号

医師会会員の先生

府医生涯研修単位 要 不要

府医生涯研修チケット番号（地区番号2桁＋医籍登録番号6桁の計8桁）

医師会未入会員の先生

参加証の送付 要 不要

当日資料送付先住所 ※医療機関住所以外の住所を希望する場合はご記入ください。

WEB参加の先生は研究会の進行上、当日質疑応答ができません。事前に質問がある場合は、下記ボックスにご記入の上、FAXにてお返事いただくか、又は保険医協会ホームページにてご入力をお願いします。講演時間や講演内容の関係上、質疑に触れることができない場合もあります。何卒ご了解いただければと存じます。